

## 「まちなか美術館」を開催します

## 1 趣 旨

映画「人生の約束」や「真白の恋」の舞台となり県内外から多くの観光客が訪れる新湊・内川沿いの観光施設「川の駅新湊」に市所有美術品を展示することで、市民や観光客に気軽に芸術文化に親しんでいただく。

## 2 名 称

まちなか美術館

## 3 会 場

川の駅新湊 2階 曳山ギャラリー（射水市立町1番26号）

## 4 会 期

平成29年3月17日（金）～30日（木）（13日間） 22日（水）は定休日

## 5 開館時間

午前10時～午後5時

## 6 観覧料

無 料

## 7 展示内容

市所有美術品（絵画中心）約10点

事務担当：地域振興・文化課

電話51-6622

## 関連行事 長恩山大楽寺宝物公開

「川の駅新湊」に程近い鎌倉時代創建で国登録有形文化財第1号の長恩山大楽寺（浄土宗）と連携し、貴重な寺宝を一般公開する。寺の由来や宝物の来歴を通して港町の歴史の一端を味わっていただく。

(1) 公開日時 平成29年3月17日（金）～22日（水）午後1時～午後4時  
事前予約不要

(2) 観 覧 料 300円  
中学生以下200円、障がいをお持ちの方は無料  
3月20日（祝・月）は彼岸法要につき無料

(3) 展示内容 曼陀羅図を中心とする寺宝約10点

## 長恩山大楽寺で公開される寺宝 紹介



じょうどへんそうまんだらえず  
浄土变相曼陀羅絵図 享保 17 年 (1732)

浄土教における仏の理想郷「極楽浄土」を描いた仏画です。

阿弥陀如来を中心に、菩薩たちがまわりを取り囲み、<sup>ほうじゅ</sup>宮殿や宝樹（極楽にある宝の樹）、<sup>ほうち</sup>蓮華が咲く宝池（宝で満たされた池）が配されています。

花や鳥が舞い、華麗なリズムが聞こえてくる感じがします。

空間を意識し遠近法を用いて、誰も見たことがない極楽浄土を、より実景的に（<sup>へんそう</sup>実際にある景色であるかのように）描いていることから「变相図」とも呼ばれます。

大楽寺は、鎌倉時代の創建と伝わる由緒あるお寺で、平成 9 年、本堂と<sup>くり</sup>庫裏が歴史的貴重建造物 2 件として「国登録有形文化財」となっています。全国のお寺で最初のことでした。

## 「まちなか美術館」主要展示作品 紹介

県内外からの観光客や市民の方々が、内川べりのレトロな街並みをゆったり散策されるついでに、お気軽に美術鑑賞していただければと考えております。会場の「川の駅新湊」2階曳山ギャラリーには、市所有美術品のうち、春の気配を感じる時期にふさわしい絵画の小品約 10 点を選びすぐって展示します。

### 「越路の春」 洋画

北陸特有の「トネリコ田園風景」。木々の葉のタッチが、爽やかな春風の吹き渡りを感じさせる。遠近法が行き届いており、小品ながら画面は深く、広がりがある。

作者：佐野隆人(さの りゅうじん)  
昭和 3 年(1928)高岡市生まれ  
日展特選、日展会友  
横浜市在住



### 「春の山里」 版画

長野の山里の春の訪れを描いたもの。厳しい冬を乗り切った後の控えめな喜びが、やや暗めの画面からうかがえる。画面中央の大木と、山の稜線、地面の輪郭線が堅固で引き締まった構図を生み出している。

作者：市川清太(いちかわ せいた)  
一水会会員、日展会友  
長野県千曲市在住



### 「梅」 日本画

朝鮮風の魚文扁瓶(ぎょもんへんぺい)とそこから広がる梅の枝ぶりや花の配置が、端正な構図と気持ちの良いリズムを生み出している。静謐(せいひつ)な空間に梅の香がほのかに匂い立つ。

作者：豊秋半次(とよあき はんじ)  
明治 40 年(1907)富山県生まれ  
安田靉彦(やすだ ゆきひこ)に師事  
日本美術院院友となり奨励賞(白寿賞)、大観賞を受賞後、院展を離れて制作発表を続ける。大徳寺障壁画制作、「現代の山水画展」(山種美術館)特別展示などで注目される。平成 4 年(1992)京都市にて 84 歳で没

